

解説 1

プレス災害発生状況と プレス加工現場に必要な安全対策

中央労働災害防止協会 中島次登*

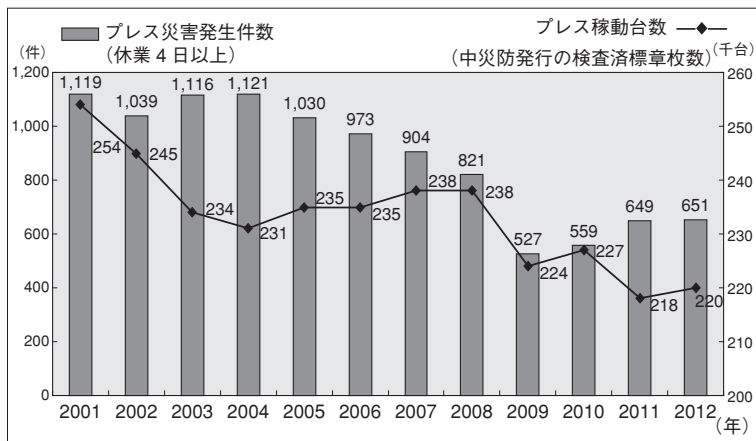
プレス機械の使用状況と災害発生状況

1. プレス機械の稼働台数と労働災害*の推移

図1はプレス機械の稼働台数と労働災害発生件数を表したものである。プレス機械による休業4日以上の災害発生件数は、2001年から04年の間横ばい状況であったものが05年より順調に右肩下がりに減少している。

09年の大幅な減少は、リーマンショックの影響により経済環境の悪化のため、プレス加工業界の減産により、プレス機械の稼働率の低下による

*(なかしま つぎと)：技術支援部
〒108-0014 東京都港区芝5-35-1
TEL:03-3452-6375 FAX:03-5445-1774



※「図2~4における2007年の休業4日以上(981件)の災害件数は抽出調査のため、中災防調査の件数(904件)と異なる」

図1 プレス機械の稼働台数と労働災害の推移

ものと推測される。しかし、2009年からは今まで経験したことがない、3年間の連続した増加となっている。プレス稼働台数は、検査業者および事業内検査者による特定自主検査を実施した後に貼付する検査済標章の頒布枚数を元に算出した。プレス稼働台数は、03年から08年まで23万台と横ばいで推移していたが、09年から12年まで約22万台で推移し長期的には徐々に減少傾向となっている。

※労働災害：(定義)法第2条作業者が作中に怪我し、疾病にかかり、又は死亡することをいう。

2. プレス災害の不安全な行動別被災者数

図2は07年に発生したプレス災害の不安全な行動別被災者数を表したものである。被災者数の多いのは、危険場所への接近26.6%、運転中の機械装置等の修理点検20.8%、安全装置を無効にする12.8%となっている。安全装置を無効にするような、不安全行動によって災害につながる可能性が高いと言える。

また、不安全な行動の分類は表1のとおりである。

3. プレス災害の不安全な状態別被災者数

図3は07年に発生したプレス災害の不安全な状態別被災者数を表したものである。被災者数が多いのは、安全装